

新たな生活様式を支える NTT西日本グループの取組み

— 新型コロナウイルス感染症への対応 —

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延を受け、社会環境は急速な変容を遂げつつあります。NTT西日本グループは、企業の責務として、感染拡大を可能な限り抑制し、お客さまの安全・従業員の健康を確保のうえ、指定公共機関として、通信の確保等に向け、持続的・安定的な通信サービスの提供・維持に努めています。

また、変わりゆく価値観や生活様式の中で、お客さまや社会のご要望に応え、多様なICTソリューションの提供に取組み、パートナーの皆さまとともに地域社会の課題解決に貢献していきます。

お客さまへの支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々を取り巻く環境は激変しました。

感染拡大を抑制する観点から企業では従業員の働き方の急激な変革を余儀なくされ、テレワークの導入が一気に進みました。その一方で、導入に際して課題に直面している企業も多く、NTT西日本は企業向けに相談窓口を設置するとともに、導入サポートに取り組んできました。自宅等

での高セキュリティのリモート接続とその環境整備、ビジネスチャットを用いた遠隔会議、スマートフォンの内線化、従業員の勤怠管理等の支援がその代表例です。

同様に、教育現場でもリモートやオンラインのニーズが急速に高まりました。とりわけ対面授業の再開まで時間を要した大学では重要課題となり、各学校と連携してWeb配信等を活用した遠隔受講の環境整備をサポートする等、学生の学業継続を後押ししました。

一方で、リモート化・オンライン化の進展に伴い、増加したデータ通信トラフィックに対しては、十分なネットワーク容量を確保し、新しい生活様式において重要性を増した通信基盤を下支えています。また、企業・学校・地方自治体が社会情勢の変化に柔軟に対応し、さらなる発展を遂げられるよう、ICTを活用した各種支援サービスの提供期間の延長、一部無償化等の措置も講じています。

今後も、NTT西日本グループは、社会の変化に機敏に対応し、ICTを活用したこれからの働き方のお手伝い等、お客さまのお役に立つための取組みを進め、地域社会のお困りごとの解決に貢献していきます。

おもな支援策



- テレワークの導入支援および相談窓口設置
- 高等教育機関と連携した遠隔受講の環境構築支援
- ICTを活用した各種支援サービスの一部無償化
- データ通信トラフィックへの対応
- ご利用料金の支払い期限延長

感染拡大防止に向けた対策

新型コロナウイルスの感染拡大を可能な限り抑制し、お客さまの安全・従業員の健康を守るのは、企業としての責務です。持続的・安定的な通信サービスを維持・提供するためにも、NTT西日本グループは2020年3月に設置した対策本部を中心に、社内外で対策を徹底し、全社をあげて感染防止に努めています。

社員へのおもな対策措置

- 全社員への注意喚起および基本対策（マスク常時着用、手洗い等）の徹底
- テレワーク（在宅勤務〈サテライトオフィスの活用含む〉）や時差出勤（フレックスタイム制）の積極的な活用
- 電話会議・Web会議の積極活用
- 体調不良時の出社見合わせと専門機関への相談・受診の徹底
- 宴席等の開催・参加の抑制と参加時の三密回避の徹底

職場環境へのおもな対策措置

- ビル入館時・職場入室時用の消毒薬等の配備
- 社屋通用口でのサーモカメラによる検温
- ドアノブやエレベータボタンの消毒、必要に応じた特別清掃の実施
- 居室内における感染防止対策の強化（飛沫感染防止シートの整備）